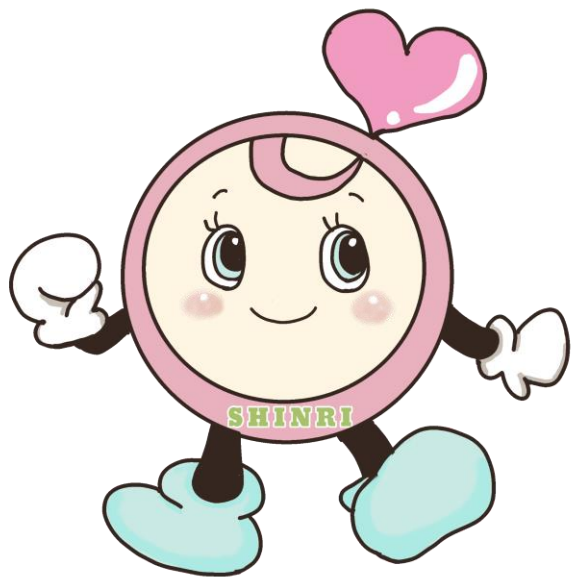


話してくれた方



氏名： N.S. さん

学年： 3年生

社会・臨床心理学専攻を選んだ決め手

私自身、人と関わるのが好きのため心理学を学ぶことにしました。

その心理学を学べる大学の中でも、大妻女子大学は社会心理学と臨床心理学をバランスよく学べるという所に魅力を感じました。

またオープンキャンパスで多摩キャンパスを見学し、模擬授業を受け、興味深く感じ、大妻女子大学を選びました。

今、どのようなことを学んでいますか？

現在、私は心理学レポートの書き方や
どのように統計を扱うかを学んでいます。
心理学レポートの書き方については、
自分が書いた文章が読む相手に対して読みやすいかどうかを
試行錯誤しながら仕上げています。
また、統計についてはExcelを使って行います。
先生方が解説を丁寧にしてくださるため、どのような時に
どのようにデータを求めるかを理解することができます。

社会・臨床心理学専攻のおすすめの授業は何ですか？

私は、質的研究法の授業が興味深い授業だったと感じています。量的データを扱う授業が多いですが、この授業では質的データについて一から学びます。5人ほどのグループに分かれて、各グループで研究テーマを決め、調査を行い、その結果をどう分類するかをグループワークします。

あなたが感じる社会・臨床心理学専攻の特徴は？

第一に感じていることは、

先生方との距離が近いということです。

課題レポートについても、先生方が一人一人に赤字で修正点を示してくださるため、より良いレポートを作成できるようになります。

また、グループワークが多いのも特徴だと思います。

グループの中で、自分がどのように貢献できるかということを考えるだけではなく、責任感を持つことができるため、刺激になります。

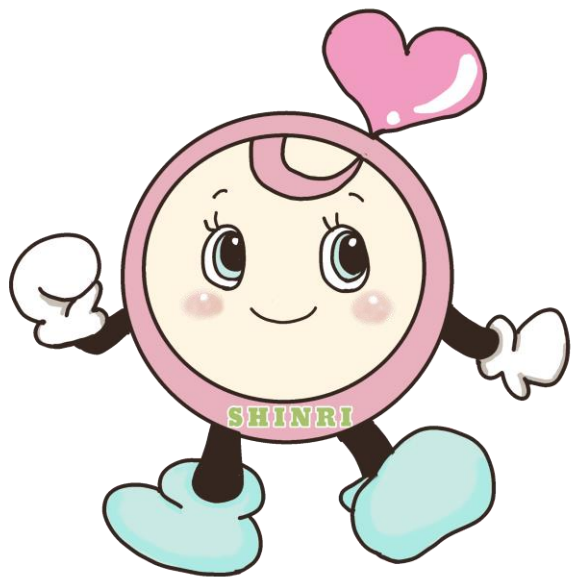
将来の夢や今後の目標

私は人と接することが好きのため、
人に喜んでいただける仕事をしたいと考えています。
大学のTEP（Tama English Program）で鍛えた英語力を
さらに磨き、海外の方とも一緒に仕事ができるような
国際的スキルを身に付けていくのが目標です。

受験生の皆さんへ

大学４年間は、学習の時間は勿論のこと、友人との時間や、自分自身の将来を見据える大切な時間だと思います。自分の進路を決めることは不安が大きいかと思いますが、本学部は友人も先生方も優しい人で溢れていますので、楽しい学生生活が過ごすことができます。

話してくれた方



氏名： R.K. さん

学年： 4年生

社会・臨床心理学専攻を選んだ決め手

将来の選択肢を増やすためにも社会心理学と臨床心理学の両方を学べることが最大の魅力だと感じました。

また、私は日常生活の疑問や友人間でのトラブルの原因など心理学の現象で説明がつくことを知り、自分の興味や新たな知見を得られると考え決めました。

今、どのようなことを学んでいますか？

社会心理学を中心に学んでいます。「心理学研究法」ではグループで決めたテーマに関して質問紙を作成し、調査や分析を行いました。

この経験から現在は卒業論文作成において必要になる文献をなるべく多く読んで自分が研究したいテーマに関してより明確化させるようにしています。

社会・臨床心理学専攻のおすすめの授業は何ですか？

「心理学研究法」です。グループ内で自由にテーマを決め、調査や研究を行い、最終的にレポートにまとめます。自分たちの関心のあるテーマに関して研究できることや卒業論文作成の練習のように本格的なレポートを作成することができるのでやりがいがあります。

あなたが感じる社会・臨床心理学専攻の特徴は？

自分の関心や興味のあるテーマに関して
研究に取り組むことができることが魅力だと感じています。
また、先生のサポートも手厚く、
研究や調査など初めてのことが多い中、手順を一から
詳しく教えていただけて自分のやりたい研究に
取り組むことができます。

将来の夢や今後の目標

将来的に心理学の知識が活かせるような職種につきたいと考えています。

心理学に関係ある職業を選択しなくても
専攻で得られた知識は日常生活で役に立つことが
多くあるため積極的に活かしていきたいと思います。

受験生の皆さんへ

入学前は心理学という統計や分析など数学的な部分が多く不安がありましたが、基礎から丁寧に学ぶことができ、不安はなくなりました。

何よりも自分の興味関心が無駄にすることなく学業に活かすことができるのが大変魅力に感じました。